



新国立劇場 2023/2024 シーズンオペラ

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

コジ・ファン・トゥツテ

Così fan tutte / Wolfgang Amadeus MOZART

2024年5月30日(木)～6月4日(火)

会場:新国立劇場 オペラパレス 2024年3月16日(土) 10:00～ 前売開始



『コジ・ファン・トゥツテ』2011年公演より

賭けたのは恋人たちの愛 モーツァルトの天上の音楽が描く恋の駆け引き

モーツァルトが極上の音楽で男女の恋の駆け引きを描いたオペラ『コジ・ファン・トゥツテ(女はみんなこうしたもの)』。女心を試そうと賭けをする男女の感情の機微をコミカルに、時にアイロニカルに描いた恋愛劇です。オペラファンには『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』と共に“ダ・ポンテ三部作”として親しまれ、『魔笛』を加えた“モーツァルト四大オペラ”のひとつと言われることもあります。『コジ・ファン・トゥツテ』は6人のキャストが全員重要な、究極のアンサンブル・オペラ。二重唱、三重唱、四重唱…と次々に繰り出される重唱は、モーツァルトの極致といえる美しさです。

大きな共感と呼んだミキエレット版「キャンピング・コジ」、待望の再登場！

世界中のオペラハウスで引っ張りだこの売れっ子演出家ミキエレットの『コジ・ファン・トゥツテ』は、現代のキャンプ場が舞台の「キャンピング・コジ」。巨木が立ち並び苔の薫りまで漂うような深い森が出現し、キャンプ場ならではの仕掛けが満載のリアルな舞台美術も大きな見どころ。そして老哲学者の思惑通りことが進んで若者たちが元の鞆に収まるという原作を引っくり返した結末も共感を呼びます。オペラ初心者の方が観ても楽しく、オペラ通にも評判の人気プロダクションです。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木 綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

モーツァルト最高の恋愛喜劇「コジ・ファン・トゥッテ」

モーツァルトが、男女の愛の真実を極上の音楽で描いたオペラ『コジ・ファン・トゥッテ(女はみんなこうしたもの)』、『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』と並ぶ、モーツァルトのオペラ代表作のひとつです。

二人の青年が恋人の愛情を試す賭けに挑戦、ついに女たちが誘惑に陥落するというストーリーが、女声二重唱、男声二重唱、男女の二重唱に三重唱、四重唱……と数々の重唱で綴られるアンサンブル・オペラで、今ではモーツァルト最高の恋愛喜劇として人気を博しています。心の機微を伝える名曲揃いで、姉フィオルディリージの「岩のように」「お願い、許して恋人よ」、デスピーナの「女も 15 になれば」、フェルランドが愛を歌う「愛しき人の愛のそよ風は」といった美しいアリア、姉妹の「私のはあの栗毛の方がいいわ」、クライマックスでフィオルディリージがフェルランドを受け入れる「間もなく私は婚約者の腕に」と、胸に染み入る珠玉の音楽の宝庫です。「モーツァルトのオペラで一番好き」という方も多い、モーツァルトらしさあふれる佳作です。



モーツァルトを得意とする旬な歌手陣がオペラパレスに集結！

『コジ・ファン・トゥッテ』は2組のカップルとこの恋愛ゲームの仕掛け人の老哲学者アルフォンソ、そして恋愛指南役の小間使いデスピーナと、6人の歌手皆が重要な役。いわば全員主役のアンサンブル・オペラです。

姉妹役として出演するのは、『トゥーランドット』リユー、『仮面舞踏会』オスカル、『カルメン』ミカエラなどの役でミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、フェニーチェ歌劇場など著名劇場で大活躍するセレーナ・ガンベローニと、モーツァルトやベルカントを得意とするメゾソプラノで、このミキエレット版の 2011 年の初演でも同役を歌ったダニエラ・ピーニ。

対する恋人の若者二人には、プエルトリコから世界第一線へ躍り出たテノールの新スター、ホエル・プリエトと、米国でキャリアを築きセージ・オザワ松本フェスティバル『エフゲニー・オネーギン』を皮切りに重要な役に出演を重ね、評価も人気も爆発的に上昇中のバリトン大西宇宙。

小間使いデスピーナ役は、スープレッド(『フィガロの結婚』スザンナや『こうもり』のアデーレなどの軽く快活なソプラノの役)はもちろん、『ペレアスとメリザンド』イニョルドや『ボリス・ゴドゥノフ』クセニアで高評を得るなど進境著しい九嶋香奈枝。哲学者ドン・アルフォンソ役はナポリ出身の実力派バスソ・ブッフオ、フィリッポ・モラーチェが出演します。

指揮は 2020 年のシーズン開幕公演『夏の夜の夢』を大成功に導いた飯森範親です。



キャンプの一夜の恋の冒険、大人気のみキエレットの「キャンピング・ゴジ」



イタリアの演出家ダミアノ・ミキエレットは、世界中のオペラハウスで大胆な演出を発表して話題を巻き起こし続ける売れっ子演出家。その演出は、設定の読み替えで観客を驚かせながらも、登場人物の心理に寄り添った丁寧な読み込みで、作品の本質を捉えるものと高く評価されています。2011 年に演出したこの『ゴジ』では、モーツァルトが指定した 18 世紀のナポリの海辺でなく、現代のキャンプ場を舞台に設定。斬新ながら、テキストに忠実な射た展開でモーツァルトの傑作に新たな息吹を吹き込み、開幕するや「キャンピング・ゴジ」の愛称で大人気となりました。幕が上がるとそこは針葉樹の巨木が立ち並び、苔の薫りまで漂うような深い森。こ

の森は木漏れ日から夕暮れ、間へと刻々と情景が変し、思わず感嘆の声が上がるほどの美しく深遠な世界です。ストーリーが始まるや、キャンプグッズに本物のクルマ、パンクなバイク野郎への瞬時の変身と、遊び心いっぱいの小道具やファッションが回転舞台に続々と登場するのも注目ポイント。リアルなだけでなく、時々仕込まれた舞台ならではのユニークな趣向も楽しさいっぱいです。若者たちの喧騒に男女の見定め合い、テントの張り場所を巡る小競り合いに、水遊びに興じながらの恋愛談義、深い闇の中の焚火……「キャンプあるある！」の楽しい仕掛けが満載、キャンプ場の恋の冒険の物語は、大いにリアリティを持って伝わります。



さらに観客を唖らせるのが、ミキエレットが提示した『コジ』の結末。老哲学者の思惑通り若い女が心変わりし、現場を押さえられた末に唐突に「目が覚めた」と男の懐に戻って大団円……という原作を引っくり返した結末の演出に、快哉を叫んだ観客多数！ 共感を呼んでやまないミキエレットの「キャンピング・コジ」は、是非とも劇場で、極上の音楽とドラマ展開をとことん楽しんでいただきたいエンターテインメントです。

<「コジ・ファン・トゥッテ」あらすじ>



青年士官のグリエルモとフェルランドは、美しい姉妹フィオルディリージとドラベツラとそれぞれ婚約を交わしている。老哲学者のドン・アルフォンソにそそのかされ、ふたりは恋人の貞節について賭けをすることに。出征するふりをして偽りの別れを演じた後、別人に変装して姉妹を口説くふたり。姉妹の心は次第に揺らぎ、ドラベツラがグリエルモに、さらにフィオルディリージもフェルランドの口説きに陥落してしまう。入れ替わった2組のカップルの結婚式が行われるところに、軍隊(婚約者)の帰還が告げられる。

新国立劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ダイジェスト映像

<https://www.youtube.com/watch?v=fa6XzAho0gU>

<キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】飯森範親

IIMORI Norichika

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、1994年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーで絶賛されて以降、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。2003年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。23年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。新国立劇場では『鹿鳴館』、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』を指揮したほか、20/21シーズン開幕公演『夏の夜の夢』を指揮し大成功を収めた。



【演出】ダミアノ・ミキエレット

Damiano MICHIELETTO

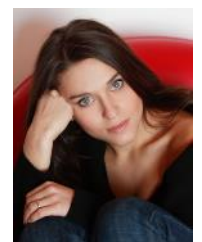
ミラノのパオロ・グラッシ演劇学校でオペラと演劇の演出を学んだ後、生地ヴェネツィアの大学で現代文学を学ぶ。2003年ウェックスフォード・フェスティバル『バグパイブ吹きシュワンダ』の演出が絶賛され、アイルランド・タイムズ ESB 演劇賞を受賞。08年ロッシェニ・オペラ・フェスティバル『泥棒かささぎ』でアッピアーティ賞を受賞。12年にはザルツブルク音楽祭に『ラ・ボエーム』でデビューし、続いて13年『ファルスタッフ』、14年『チエネレントラ』を演出。主な演出作品に、オランダ国立オペラ『ランスへの旅』『リゴレット』、英国ロイヤルオペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師』(16年オリヴィエ賞受賞)、フェニーチェ歌劇場『魔笛』『メリー・ウイドウ』『アクアグランダ』(ペロッコ作曲・世界初演、17年アッピアーティ賞)、『マクベス』『リゴレット』(22年アッピアーティ賞)、アン・デア・ウィーン劇場『オテロ』『夏の夜の夢』、ベルリン・コーミッシェ・オーパー『サンドリヨン』、ロッシェニ・フェスティバル『湖上の美人』、パリ・オペラ座『サムソンとデリラ』『ドン・パスクワレ』、ミラノ・スカラ座『ファルスタッフ』『サロメ』『ばらの騎士』、ローマ歌劇場『ファウストの劫罰』(18年アッピアーティ賞)、フランクフルト歌劇場『はるかなる響き』、ザルツブルク音楽祭『アルチャーナ』、リヨン歌劇場『ベアトリスとベネディクト』などがある。



【フィオルディリージ】セレーナ・ガンベローニ(ソプラノ)

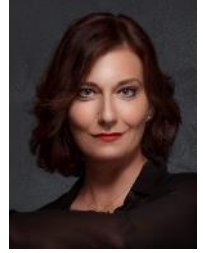
Serena GAMBERONI

イタリア出身。Aslico コンクールに優勝し、ロンバルディアの『愛の妙薬』アディーナ、『ウェルテル』ソフィーでデビュー。ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場で『愛の妙薬』ジャンネッタ、『フィガロの結婚』スザンナ、『仮面舞踏会』オスカル、『ドン・パスクワレ』ノリーナ、『ラ・ボエーム』ミミ、『カルメン』ミカエラ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナに出演。06/07シーズンのナポリ・サンカルロ歌劇場『ファルスタッフ』ナンネッタを皮切りに、トリノ王立歌劇場、ポローニヤ歌劇場、パルマ王立歌劇場、ヴェローナ野外音楽祭、マチェラータ音楽祭とイタリアの主要歌劇場にデビュー。ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラに『仮面舞踏会』オスカルでデビュー。最近の出演に、カルロ・フェリーチェ歌劇場『愛の妙薬』アディーナ、『トゥーランドット』リユー、『ラ・ボエーム』ミミ、『道化師』ネッダ、パレルモ・マッシモ劇場『ウェルテル』ソフィー、『シモン・ボッカネグラ』アメリア、フィレンツェ歌劇場『フィガロの結婚』伯爵夫人、エミリア連盟『ファルスタッフ』アリーチェ、ミラノ・スカラ座『フェドラー』オルガ、英国ロイヤルオペラ『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナなどがある。新国立劇場初登場。

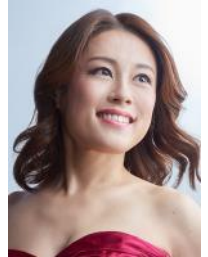


【ドラベッラ】ダニエラ・ピーニ(メゾソプラノ)**Daniela PINI**

ボローニャ大学で音楽史を専攻し、モデナで声楽を学ぶ。『チェネレントラ』アンジェリーナ、『セビリアの理髪師』ロジーナ、『タンクレディ』ロッジエーロ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『ファルスタッフ』ページ夫人メグなどのレパートリーで、ボローニャ歌劇場、ヴェローナ歌劇場、パルマ王立歌劇場、サッサリ歌劇場、トリエステ歌劇場、カリアリ歌劇場、フランクフルト歌劇場などで活躍。最近の出演に、ニース・オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『メデア』ネリス、バイエルン州立歌劇場『ファルスタッフ』ページ夫人メグ、ラヴェンナ音楽祭『リゴレット』マッダレーナ、トリノ王立歌劇場『チェネレントラ』アンジェリーナ、ベルガモ・ドニゼッティ劇場『アンナ・ボレーナ』ジョヴァンナ・シーモアなどがある。ベルゴレージ『スターバト・マーテル』、ロッシーニ『小荘厳ミサ』『スターバト・マーテル』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『ミサ・ソレムニス』など宗教曲の出演も多い。新国立劇場では2011年、『コジ・ファン・トゥッテ』本プロダクション新制作の際にもドラベッラに出演している。

**【デスピーナ】九嶋香奈枝(ソプラノ)****KUSHIMA Kanae**

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁派遣在外研修員としてミラノに留学。2005年にはギリシャにてアテネ国立劇場開場記念公演『魔笛』(ミヒヤエル・ハンベ演出)に招聘され出演。第54回全日本学生音楽コンクール第1位、HIMESコンクール第1位。東京二期会『魔笛』パバゲーナ、びわ湖ホール『死の都』ユリエッテ、PMFステージオペラ『ナクス島のアリアドネ』ナヤードなどに出演。新国立劇場では『愛の妙薬』ジャンネッタ、『フィガロの結婚』スザンナ、バルバリーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パルジファル』小姓1、『ジークフリート』森の小鳥、『魔笛』パバゲーナ、『愛の妙薬』ジャンネッタ、『ベレアスとメリザンド』イニョルド、『ボリス・ゴドゥノフ』クセニア、高校生のためのオペラ鑑賞教室『ドン・パスクワレ』ノリーナなどに出演している。二期会会員。

**【フェルランド】ホエル・プリエト(テノール)****Joel PRIETO**

スペイン出身、プエルトリコ育ち。若手世代で最も注目される刺激的なテノールのひとり。2008年オペリアコンクールに満場一致で優勝し、国際舞台へ躍り出る。プエルトリコ大学及びプエルトリコ音楽院、マンハッタン音楽学校で学び、パリ・オペラ座研修所、ザルツブルク音楽祭ヤング・シンガーズ・プロジェクトに参加、ベルリン・ドイツ・オペラ専属歌手を経て、英国ロイヤルオペラ、テアトロ・レアル、リセウ大劇場、ベルリン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ワシントン・ナショナル・オペラ、ヒューストン・グランド・オペラ、ロサンゼルス・オペラ、パリ・オペラ座、シャトレ座、トゥールーズ・キャピトル劇場、モンテカルロ歌劇場、モネ劇場、アン・デア・ウィーン劇場、ローマ歌劇場、サンタフェ・オペラ、グラインドボーン音楽祭、エディンバラ音楽祭、エクサン・プロヴァンス音楽祭など世界の著名歌劇場、音楽祭へ登場。モーツァルトやベルカントの主要な役柄でキャリアを拓き、リリック・テノールとして『ロメオとジュリエット』ロメオ、『ルチア』エドガルド、『愛の妙薬』ネモリーノ、『エウゲニ・オネーギン』レンスキー、『椿姫』アルフレード、『ファウスト』タイトルロール、『カルメン』ドン・ホセ、『ラ・ボエーム』ロドルフォなどに役を拡げている。新国立劇場初登場。

**【グリエルモ】大西宇宙(バリトン)****ONISHI Takaoki**

武蔵野音楽大学及び大学院、ジュリアード音楽院を卒業。シカゴ・リリック・オペラで研鑽を積み、世界初演オペラ『Bel Canto』でアメリカデビュー。同劇場メンバーとして50以上の公演に出演。2019年にセイジ・オザワ松本フェスティバルにて『エフゲニ・オネーギン』タイトルロールで日本でのオペラデビュー。以来、国内外で『フィデリオ』『カルメン』『リナルド』『道化師』『電話』『ローエングリン』『ニュルンベルクのマイスター・ジנגー』『椿姫』『トゥーランドット』『仮面舞踏会』などに出演。最近では兵庫県立芸術文化センター 佐渡裕プロデュース・オペラ『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールが絶賛されたほか、全国共同制作オペラ『こうもり』ファルケ、バツハ・コレギウム・ジャパン『ジュリオ・チェーザレ』アキッラ、『魔笛』パバゲーノなどで高評を得る。CDは「詩人の恋」(ピアノ:小林道夫)をBRAVO RECORDSよりリリース。第30回五島記念文化賞オペラ新人賞、第30回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第25回(2023年度)ホテルオークラ音楽賞、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。新国立劇場へは22年『愛の妙薬』ベルコーレでデビューした。

**【ドン・アルフォンソ】フィリッポ・モラーチェ(バス・バリトン)****Filippo MORACE**

ナポリ出身。サレルノ音楽院を卒業直後にロベルト・デ・シモーネに抜擢され、ナポリ・サン・カルロ歌劇場『ヴィーヴァ・ラ・マンマ』に出演。1999年スポレート・コンクールに優勝し『オベルト、サン・ボンファテ・チヨ伯爵』タイトルロールに出演。サン・カルロ歌劇場『チェネレントラ』『焼きもち焼きの夫』(チマローザ)、『イエヌーファ』『セビリアの理髪師』『ラ・ボエーム』『トスカ』『イタリアのトルコ人』『空想のソクラテス』(パイジェット)などで活躍するほか、ミラノ・スカラ座『ラ・ボエーム』『空想のソクラテス』『トスカ』、フェニーチェ歌劇場『セビリアの理髪師』(パイジェット、ロッシーニ)、ボローニャ歌劇場『ランスへの旅』『ラ・ボエーム』、ローマ歌劇場『アルジェのイタリア女』『セビリアの理髪師』、マテラータ音楽祭『ラ・ボエーム』、トリエステ歌劇場『ピーター・グライムズ』、モンテカルロ歌劇場『ランスへの旅』、モネ劇場『セビリアの理髪師』(パイジェット)、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル『美女たちの勝利』(パヴェージ)などに出演。最近では、サレルノ歌劇場『連隊の娘』シュルピス、同劇場『セビリアの理髪師』バルトロ、『メリー・ウィドウ』ツイータ男爵、ミラノ・スカラ座『小舟に乗った恋人たち』などに出演している。新国立劇場初登場。



新国立劇場 2023/2024 シーズン オペラ

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト **コジ・ファン・トゥツテ** 全2幕 〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉
Così fan tutte / Wolfgang Amadeus Mozart

【公演日程】 2024年5月30日(木)18:30／6月1日(土)14:00／2日(日)14:00／4日(火)14:00

【会場】 新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:26,400円・A:22,000円・B:15,400円・C:9,900円・D:6,600円・Z:1,650円

【前売開始】 2024年3月16日(土) 10:00～

※予定上演時間 約3時間25分(休憩含む)

指揮	飯森範親	フィオルディリージ	セレーナ・ガンベローニ
Conductor	IIMORI Norichika	Fiordiligi	Serena GAMBERONI
演出	ダミアーノ・ミキエレット	ドラベッラ	ダニエラ・ピーニ
Production	Damiano MICHIELETTO	Dorabella	Daniela PINI
美術・衣裳	パオロ・ファンティン	デスピーナ	九嶋香奈枝
Set and Costume Design	Paolo FANTIN	Despina	KUSHIMA Kanae
照明	アレッシェンドロ・カルレッティ	フェルランド	ホエル・プリエト
Lighting Design	Alessandro CARLETTI	Ferrando	Joel PRIETO
再演演出	三浦安浩	グリエルモ	大西宇宙
Revival Director	MIURA Yasuhiro	Guglielmo	ONISHI Takaoki
		ドン・アルフォンソ	フィリッポ・モラーチェ
		Don Alfonso	Filippo MORACE

合唱指揮	水戸博之
Chorus Master	MITO Hiroyuki
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/cosi/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)
新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* Z席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】

新国立劇場『ロジ・ファン・トゥッテ』2011年公演より

撮影:三枝近志